

平成22年9月29日

記者各位

東京都新宿区西新宿2-7-1
MISAWA・international 株式会社
代表取締役 三澤 千代治

「2010年度グッドデザイン賞」を受賞 HABITA「みんなの家」、他2製品が高い評価を獲得

MISAWA・international 株式会社(代表取締役:三澤千代治 本社:東京都新宿区
資本金:88,758万円 以下、MISAWA・international)では、このたび財団法人日本産
業デザイン振興会が主催する「2010年度グッドデザイン賞」(Gマーク)を、HABITA[みんなの家]、HABITA[松江堀川の家]、HABITA[カフェキャビネット・パーテーションキャビネット]で受賞いたしました。

中でも、HABITA「みんなの家」は、「家という場所の持つ力を信じ、現代社会の課題に正面から向かいあっている」点が高く評価され、戸建・集合住宅部門 97 件の中で特別賞の中小企業庁長官賞にも選ばれました。

なお、本年度のグッドデザイン賞表彰式は、11月10日に東京ミッドタウン・ホール(東京都・港区)で開催される予定です。

各受賞商品の概要とGマークグッドデザイン賞審査員のコメントは、次の通りです。

製品名称:HABITA「みんなの家」

製品概要:情報時代は新しいコミュニティが生まれる時代である。知縁が生まれる時代であり、無縁社会では決してない。知縁で結ばれた友だちは家族のように接し、家族も友だち化する。家族の絆は、もっとゆるやかで心地良い「みんなのルール」に移行する。玄関は内に開かれ、ダイニングリビングは人の集まるカフェとなる。他には何もいらぬ。個人の部屋はより平等になり、子どもにとっては家全体が勉強部屋になる。2階の空間は1階よりも広く、さまざまな家族の関係を自由に描いて変えてゆけるデザインフレームこそが大切である。家族と友だちをあわせた「みんな」のための家のデザインは、新しいライフスタイルを受け止め、生み出す家となる。

販売価格:1,667万円(本体工事価格です。屋外電気水道工事、屋内外ガス工事、基礎補強工事等、敷地の条件等によって変わる工事費は含まれません。

事業プロデューサー:MISAWA・international 株式会社 代表取締役 三澤千代治

デザインディレクター:MISAWA・international 株式会社 常務取締役 石川新治

デザイナーからのコメント:進化する新しい家のデザインは、1階よりも2階が大きくなる。情

報時代のコミュニケーションが、リビングをカフェへと変える。黒い天井がより高さを感じさせ、国産杉の垂木を際立たせる。

グッドデザイン賞審査員による評価コメント: 家という場所の持つ力を信じ、現代社会の課題に正面から向かいあっている。具体的には、木質系住宅のプロトタイプのような簡潔さのなかに、現代家族のライフスタイルを反映したプランニングがなされている。

グッドデザイン賞ウェブサイトでの紹介ページ:

<http://www.g-mark.org/award/detail.html?id=36505>



製品名称: HABITA「松江堀川の家」

製品概要: 松江城の堀割りは、古来から堀川と呼ばれ、その周辺には、今でも多くの屋敷が残っています。小泉八雲の居宅から始まり並ぶ家々は堀川沿いの松並木と合わせて、数百年の歴史を経て築かれてきました。堀川の家は、この町並みの中に建てられる現代住宅のあり方として追求したものです。ただし、単なるデザインの調和を狙ったものではなく、またデザインを踏襲し継承することでもありません。これらの古民家が現存するのは、残されるべきデザインであるとともに、根底にある建造物としての基本が守られています。平成の時代に建てられた家が100年後に古民家として再生してゆく、その基本となるデザインフレームからの考案をいたしました。

販売価格: 2,000万円(本体工事価格です。屋外電気水道工事、屋内外ガス工事、基礎補強工事など、敷地の条件等によって変わる工事費は含まれません)

事業プロデューサー: MISAWA・international 株式会社 代表取締役 三澤千代治

デザインディレクター: HABITA 建装

デザイナーからのコメント: 松江城の外堀、堀川の屋敷街の趣を生かした住宅デザインを追求。古民家の正しい点を、現代の新しい手法で再現した。濃い木材の色と、白壁のコントラストが内外ともに基本となる。

グッドデザイン賞審査員による評価コメント: 古い街並みに新しい住宅を建てるマナーを

追及する姿勢は評価に値する。細部へのこだわりも感じられる。
グッドデザイン賞ウェブサイトでの紹介ページ：
<http://www.g-mark.org/award/detail.html?id=36506>



製品名称：HABITA「カフェキャビネット・パーテーションキャビネット」

製品概要：家や部屋に合わせた造り付け家具という概念と、様々な用途に対応できる建具という考えを融合させた、家具収納。現しのインテリアに合う扉の仕様は、ランダムマッチの柾目が美しい栓の木、富士吉田の先染め伝統工芸の富士山織、環境素材のオレフィン。日本の伝統的な住まいが、夏冬に襖や障子を入れ替え空間に変化を生み出してきたように、組み合わせによるデザインバリエーションも楽しめる。間仕切りとして建具の障子や襖を置くように、かわりにキャビネットを活用することで家族構成や暮らし方の変化に柔軟に対応することができる。キャビネットが空間を仕切るパーテーションとなる「収納は建具」というコンセプトの家具収納。

販売価格：（販売価格は本体価格です。運搬、設置費用は含まれません。バリエーションと仕様により金額が異なります。）

事業プロデューサー：MISAWA・international 株式会社 代表取締役 三澤千代治

デザイナー：内藤家具インテリア工業株式会社 代表取締役 内藤大二郎

デザイナーからのコメント：木材「現し」のインテリアに合う仕様のバリエーションと、可変性の高いパーツで構成された間仕切り家具収納は、永い将来のことを考えた家づくりから生まれたキャビネット。永く受け継がれる家には、空間を構成するアイテムにも知恵がある。季節や用途によって変化できる柔軟性、空間になじむ質感。収納を建具として考え、自由な発想で組み合わせ仕切ること暮らしを楽しむ。住まいと同じように、長い年月の中で経年変化してゆく風合いを受け継いでゆける収納家具になることを目標とする。

グッドデザイン賞審査員による評価コメント：「システム」の語源はギリシア語の『結合する』だそうだ。造り付け家具と建具を融合させ、広義に「システム」化した家具である。

突板、テキスタイル、オレフィンと 3 種類のマテリアルは素材の特徴を生かし爽やかだ。栓(せん)の柾目突板は、接ぎ合わせ技術のセンスが活かされ無垢感がある。

テキスタイルは富士吉田の伝統高密度織物を採用し玉虫色に輝く。塩素を含まないことから環境素材として注目されているオレフィンも採用。

用途と機能から導きだしたシンプルに徹したデザインも心地いい。

グッドデザイン賞ウェブサイトでの紹介ページ:

<http://www.g-mark.org/award/detail.html?id=36357>



なお、MISAWA・international の新しい住まいのブランドHABITAは、2008年度のHABITA 岩瀬牧場、HABITA SORA・MADO、2009年度のHABITA SORA・MADOさんぶの受賞に続き、3年連続となります。

グッドデザイン賞とは

「グッドデザイン賞(Gマーク)」は、1957年通商産業省によって設立された「グッドデザイン選定制度」を継承し、1998年より財団法人日本産業デザイン振興会の主催事業として運営される、日本で唯一の総合的なデザイン評価・推奨制度です。これまで50年以上に渡って新しい時代の文化と生活を創造することを目的に「より豊かなライフスタイル」と「良いビジネス」を導く運動として展開され、のべ受賞件数は35,000件以上にのぼり、今日では国内外の多くの企業や団体が参加しています。また、グッドデザイン賞受賞のシンボルである「Gマーク」はすぐれたデザインを示す象徴として広く一般に親しまれています。



**GOOD DESIGN
AWARD 2010**

《当ニュースリリースに関するお問い合わせ》

MISAWA・international 株式会社

〒163-0704 東京都新宿区西新宿 2-7-1

TEL:03-3348-8031 FAX:03-5326-8610 URL: <http://www.habita200.jp/>

担当者: 石川 新治 E-MAIL: sin-isik@m-int.jp

小川 豊 E-MAIL: y-ogawak@m-int.jp

※HABITA の報道用写真データは下記弊社サイトよりダウンロードできます。

→http://www.m-int.jp/habita_gooddesign_2010.zip